

標 題 : Ibuprofen-like activity in extra-virgin olive oil          Enzymes in an  
inflammation pathway are inhibited by oleocanthal, a component of olive oil  
エクストラバージンオリーブ油におけるイブプロフェン類似活性  
炎症経路の酵素はオリーブ油の成分オレオカンタールによって阻害される

---

著 者 : G. K. Beauchamp, et al. (米国 フィラデルフィア理科大学 薬学毒性学部)

---

掲 載 誌 : Nature 437: 45 (2005)      [「要 旨」はないので本文の一部を和訳]

---

[本 文]

新たに抽出したエクストラバージンオリーブ油はオレオカンタールを含有し——その化合物の辛みが強く刺すような感じをのどに引起すが、それは抗炎症性薬のイブプロフェンが原因のものとは異なる(1)。

この同様な感覚は共通の薬理活性の指標であり、強力でイブプロフェンと全く同様な天然の抗炎症性化合物としてオレオカンタール作用すると思われるので、我々はここで示す。

構造的に似ていないけれども、この両方の分子はプロスタグランジン合成系で同じシクロオキシゲナーゼ酵素を阻害する。

[中間を省略]

オリーブ油の成分におけるシクロオキシゲナーゼ阻害活性を我々が発見したので、この関連についてのメカニズム説明が可能となる。

---